

## 腹膜透析療法の脱落に寄与する因子に関する研究

### 1. 研究の対象

2010年1月1日～2023年12月31日までに岩手医科大学附属病院および共同研究機関において末期腎不全に対する腎代替療法として腹膜透析を選択した患者とする。

### 2. 研究期間

研究実施許可後～2028年3月31日まで

### 3. 研究目的・方法

末期腎不全に対する腎代替療法として、腎移植及び透析療法があげられます。腎移植が理想的な腎代替療法ですが、ドナー確保の問題などから、多くの末期腎不全患者において透析療法が選択されています。透析療法は血液透析及び腹膜透析があります。血液透析に比べ残腎機能の保持が良いことや生活の制限が少ないなど腹膜透析のほうが優れています。しかしわが国では約97%の症例において血液透析が選ばれ、腹膜透析は3%と非常に少ない状況です。その原因として、腎代替療法選択時の情報不足や腹膜透析期間中における脱落が多いことがあげられます。脱落の原因は腹膜炎などの感染症や腹膜機能低下による除水困難などがあげられますが、これら脱落原因に影響する因子については明らかにされていません。本研究では、当院および共同研究機関にて腹膜透析を導入した患者において、遡って患者情報をカルテから収集し、腹膜透析の脱落および継続期間に関与する因子を探索し、腹膜透析療法の長期化を図り、患者の生命予後や生活の質の向上を目的としています。

### 4. 研究に用いる試料・情報

年齢、性別、身長、体重、BMI、血圧(収縮期/拡張期)、原疾患、現病歴、既往歴、投薬歴、嗜好歴、末梢血液検査値、血液生化学検査、腹部CT検査、腹膜透析導入方法、出口部のケア方法、腹膜透析施行中の看護記録(主観的評価)、腹膜透析施行条件、腹膜透析継続状況、腹膜透析脱落時期およびその理由等

### 5. 外部への試料・情報の提供

本研究実施に際し各施設で収集及び研究用IDを付して加工したデータは岩手医科大学附属病院に集められます。集められたデータは泌尿器科学講座の鍵のある引き出しに厳重に管理いたします。

### 6. 研究組織

主任研究者

泌尿器科学講座 教授 阿部 貴弥

分担研究者

泌尿器科学講座 助教 松浦 朋彦

泌尿器科学講座 大学院生 久野 瑞貴

血液浄化療法部 金子 真理子

血液浄化療法部 佐々木 千花

臨床工学部 宮本 栄一

共同研究機関

岩手県立中部病院 科長 伊藤 明人

岩手県立大船渡病院 副院長 氏家 隆

岩手県立久慈病院 科長 小松 淳

岩手県立釜石病院 科長 菊池 大地

日本赤十字社八戸赤十字病院 科長 佐藤 一範  
医療社団法人恵仁会三愛病院 院長 清野 耕治

## 7. 研究費および利益相反

研究費は岩手医科大学泌尿器科学講座の講座研究費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。

## 8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。岩手医科大学以外の共同研究機関でも参加拒否のお申し出やお問い合わせにも対応いたしますのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

問い合わせ先：

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通 2-1-1

TEL：019-613-7111（医局内線：6551）

岩手医科大学 泌尿器科学講座 久野 瑞貴

研究責任者：

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通 2-1-1

TEL：019-613-7111（医局内線：6551）

岩手医科大学 泌尿器科学講座 阿部 貴弥

-----以上